

原著

論文区分：14 ポイント（太字MSゴシック）、枠で囲み前後に半角スペース。和文表題までは14 ポイント行間0で4行あける

早期認知症と和文表題 14 ポイント（太字MSゴシック）に関する検討 MMSEとMRI 和文副表題 12 ポイント（太字MSゴシック）診断

和文著者名 11 ポイント（MS明朝），所属の] は半角の] を使用
著者間にはカンマ不要

11 ポイント（MS明朝）で1行あける

認知症 太郎^{1,2)} 認知症 次郎²⁾ 認知症 花子³⁾

Analysis of 英文表題 12 ポイント（太字 Times New Roman） degree of cognitive impairment Diagnosis of 英文副表題名 11 ポイント（太字 Times New Roman） and MRI

Taro Dementia^{1,2)} Jiro Dementia²⁾ Hanako Dementia³⁾

英文著者名 11 ポイント（Times New Romans）

「抄録」 目的：本文（9 ポイント、MS明朝）。600字以内。対象と方法：認知障害を主訴として受診
「抄録」は 10.5 ポイント太字明朝MS。一文字スペースを入れ本文を続ける。した症例○○例に対して・・・
解析をした。結果：MMSE と早期認知症の間には・・・・・・。結論：早期認知症では、認知機能障害の・・・・・・可能性がある。

「Abstract」 Objective: The study was 本文（10 ポイント Times New Roman）。250 語以内 to assess the efficacy
「Abstract」は（10.5 ポイント Times New Roman）、一文字スペースを入れ本文を続ける・・・ Methods:102 patients were analyzed・・・・and were involved in the study・・・・ Results:Statistical analysis of・・・・ revealed significant correlations between Aand B・・・・ Conclusions: It may play a role in monitoring disease progression in the earl stage of dementia.

Key Words：MMSE, ○○○, ○○, MRI, 早期認知症

Key Words:（10.5 ポイント太字 Times New Roman）半角スペース挿入後、日本語（10.5 ポイント MS 明朝）又は英語（10.5 ポイント Times New Roman）で5 語以内。ワード間には、半角カンマ

11 ポイント（MS明朝）で最低2行あける。十分な余白がある場合にはここから本文を書きはじめてもよい

- 1) 東都大学医学部 和文所属 10 ポイント（MS明朝） 老年○○学講座
Toto University 英文所属 10 ポイント（Times New Roman）, Department of ○, Division of ○
- 2) △△△クリニック, △△△ Clinic
- 3) ●●株式会社, ●● Co., Ltd

左右均等配置となる割線（実線1ポイント）をひく

- 京. 9. 8-10. 1. 2005.
6. Gage BF, Fihn SD, White RH. Management and dosing of warfarin therapy. *The American Journal of Medicine*. 2000; 109(6):481-488.doi:10.1016/S0002-9343(00)00545-3.
 7. Aggleton JP. Understanding anterograde amnesia: disconnections and hidden lesions. *J Exp Psychol*. 2008; 61(10): 1441-1471. <http://search.ebscohost.com/login.aspx?direct=true&db=pbh&AN=34168185&site=ehost-live> Accessed March 18, 2010.
 8. 独立行政法人福祉医療機構. 介護事業者情報. <http://www.wam.go.jp/kaigo/>. 11月5日, 2011.
 9. Smith SF, Duell DJ, Martin BC et al. (河原礼子、山内豊明、山田友恵他訳). 看護技術一目で見る辞典. 初版. 東京: 西村書店: 2006.
 10. 松井真. 髄液の免疫モニタリング. 田中正美, 湯浅龍彦編. 21世紀の免疫学. 東京: 医歯薬出版. 2001: 22-6.
 11. 川合充編. 筋ジストロフィーとリスク・クライシス管理. 厚生省精神・神経疾患研究委託費. 筋ジストロフィー患者のケアシステムに関する総合研究「リスク管理とネットワーク」分化会. 2000.